

# 技術者倫理の教育を (地濃) 会長

コンクリート診断士会がセミナー

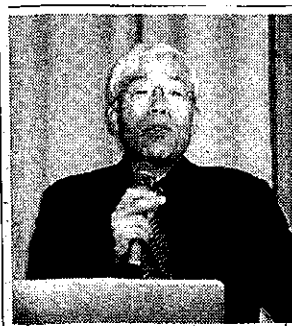
新潟県コンクリート診断士会(会長・地濃茂雄)は25日、新潟工科大学工学部建築学科教授(ほんぼ)は25日、新潟市中央区明石の新潟市立中央図書館(ほんぼ)で、技術セミナーを開催した。

まず、快調(会長)タイムとして地濃会長が講演し、「幾度の地震を生き残ってきた法隆寺の構造は、東京スカイツリーにも応用されている。われわれは、見直さなければならぬことがある。ニューシールドの大規模地震の被害状況は、関東大震災に近い」などと説明。さらに、「技術者倫理も大きな問題。作業員、技術者の教育が問われている」とアドバイスした。

セミナーでは、電気化学工業無機材料研究部の宮口克一氏が、「鉄筋腐食のメカニズムと電気化学的補修工法」と題し解説。伊藤司郎副会長が、高指名

等の資格要件にコンクリート診断士が条件となっている事例)、吉田弘副会長が、「モービルマップングシステムの活用」をテーマに報告した後、

意見交換会を行った。セミナー終了後には懇親会も開催された。



講演する地濃会長

学工業無機材料研究部の宮口克一氏が、「鉄筋腐食のメカニズムと電気化学的補修工法」と題し解説。伊藤司郎副会長が、高指名



大勢の会員が詰め掛けた技術セミナー =25日

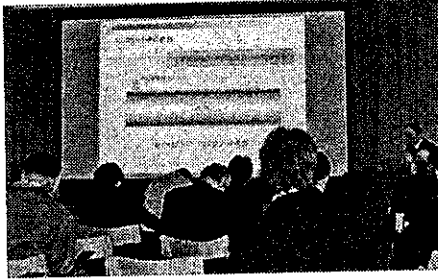
## CO診断士会が技術セミナー

### 鉄筋腐食の電気化学補修工法講演

県コンクリート診断士会(会長 地濃茂雄・新潟工科大学大学院教授)は2月25日、新潟市立図書館多目的ホールで22年度2回目の技術セミナーを開いた。会員約30名が出席して、「鉄筋腐食のメカニズムと電気化学的補修工法」の講演のあと、コンクリートや構造物診断についての意見交換が行われた。

講演では、宮口克一・電気化学工業無機材料研究部プレミックスグループリーダーが、コンクリートの中性化や塩害による鉄筋腐食のメカニズムとともに、鉄道高架橋や建築物の実例をあげて再アルカリ化や脱塩など電気化学的な補修工法について解説した。

フリートークでは、福井県発注の構造物診断業務で構造物診断技術者としてコンクリート診断士を必須としている



建設工業新聞

2011年(平成23年)2月28日 (月曜日)

建設速報

2011年(平成23年)3月3日(木曜日)